ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。

https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号（NO.）などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	製造番号（NO.）
販売店（TEL）	

お客様相談センター

●フリーダイヤル（9：00～18：00）

0120-20-8822 ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号（品川インターシティ A 棟 18 階）

電動工具ホームページ――https://www.hikoki-powertools.jp

部品コード　C99216906　310 G

HiKOKI

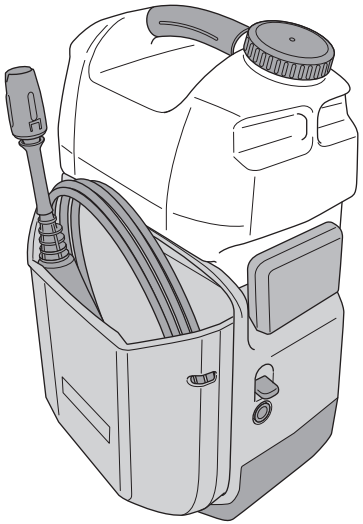
取扱説明書

用途
●網戸、窓ガラス、床面、外壁などの洗浄
●自動車、オートバイの洗浄
●園芸用具、農耕具などの泥落とし

コードレス高圧洗浄機

14.4 V　AW 14DBL　　18 V　AW 18DBL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに
コードレス高圧洗浄機の安全上のご注意… 1
リチウムイオン電池の使用上のご注意… 7
各部の名称…… 9
仕様…… 10
標準付属品…… 11
別売部品…… 12

使い方
ご使用前の準備…… 13
タンクの取付け・取りはずし…… 15
蓄電池の取付け…… 16
電池残量について…… 17
1 充電あたりの作業量について… 19
オートパワー OFF 機能について… 20
電源ランプの表示について…… 21
バリアブルノズルの使い方…… 22
洗浄する…… 23
水道から給水する場合…… 25
溜め水を使用する場合…… 27
作業が終わったら…… 29

その他
保守・点検…… 31
故障診断…… 34
ご修理のときは……裏表紙

⚠危険、**⚠警告**、**⚠注意**、**注** の意味について

⚠危険 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を即時に負う事が想定される内容のご注意。

⚠警告 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 ：製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス高圧洗浄機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠危険

可燃性の液体（ガソリン・ベンジン等）は絶対に使用しないでください。
爆発・発火の恐れがあります。

⚠警告

① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙･発火･破裂などの恐れがあります。

③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠警告

④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
- コードレス高圧洗浄機本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。

⑤ **保護メガネや防じんマスクを使用してください。**
洗浄中に跳ね返った飛まつや粉じんなどが、目や口に入る可能性があります。

⑥ **洗浄する物をしっかりと固定してください。**
固定できない軽量物などは、洗浄しないでください。
洗浄する物が水圧で飛散して、けがの原因になります。

⑦ **洗浄する物に異物の付着などがないことを確認してください。**
高圧水流に飛ばされて、思わぬけがの原因になります。

⑧ **使用中はトリガガンをしっかりと保持してください。**
しっかりと保持しないと、思わぬけがの原因になります。

⑨ **トリガをひもや針金などで引いた状態に固定しないでください。**
思わぬけがの原因になります。

⑩ **使用中、噴射口を人や動物、壊れやすい物、コードレス高圧洗浄機本体などに向けないでください。**
高圧水の噴射で、けがや破損の原因になります。

⑪ **コードレス高圧洗浄機本体や充電器、蓄電池、コンセントなどに洗浄液をかけないでください。**
感電や故障の原因になります。

⑫ **次の場合は、コードレス高圧洗浄機の電源スイッチを切り、蓄電池を本体から取りはずしてください。**
- 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
- 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
コードレス高圧洗浄機が作動して、けがの原因になります。

⑬ **トリガに指を掛けて運ばないでください。**
不意に作動すると、けがの原因になります。

⑭ **指定の付属品や別売部品を使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⑮ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠警告

⑯ **高圧ホースを抜く前に、機体の水抜きをしてください。**
不意に高圧水が吐出して、けがの原因になります。

⑰ **使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用を続けると、けがの原因になります。

⑱ **誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体に破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**
破損した機体を使用すると、けがの原因になります。

⑲ **本体の端子部 (蓄電池取付部) に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。**
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
- 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
- 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡 (ショート) して、発煙・発火などの恐れがあります。

⑳ **本体の端子部 (蓄電池取付部) に変形が生じた場合は、使用しないでください。**
短絡 (ショート) して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所は、事故の原因になります。

② **子供を近づけないでください。**
- 作業者以外、コードレス高圧洗浄機に触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
- 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- コードレス高圧洗浄機本体や蓄電池を、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所 (金属の箱や夏の車内など) に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ **指定された用途以外に使用しないでください。**
けがの原因になります。

⑤ **きちんとした服装で作業してください。**
作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。

⑥ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。

⑦ **スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。**

⑧ **蓄電池は確実に取付けてください。**

⑨ **コードレス高圧洗浄機は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率良く作業していただくために、常に手入れをしてください。損傷などがあると、けがの原因になります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
- コードレス高圧洗浄機を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⚠注意

⑪ **損傷した部品がないか点検してください。**

- 使用前に、コードレス高圧洗浄機本体や付属品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- トリガおよび電源スイッチで始動および停止操作のできない場合は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑫ **修理は、専門店に依頼してください。**

- サービスマン以外の人は、コードレス高圧洗浄機本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や、誤作動など、けがの原因になります。
- コードレス高圧洗浄機本体が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品はモーター部に強力な永久磁石を使用しております。この永久磁石による電子機器への影響について、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠注意

① **ペースメーカーなど電子医療機器を装着している方は、本製品を使用したり、近づかないでください。**
正常な作動を損なう恐れがあります。

② **携帯電話などの精密機器、磁気カード類や電子記録媒体を本製品に近づけないでください。**
誤作動、故障、記録の破損などの原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。

② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
- 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
- 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。

② 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。

③ 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。

④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。

⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。

⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。

⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。

⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠警告

⑨ 蓄電池にアルカリ系の潤滑剤や切削液が付着した場合は、速やかに乾いた布でふき取ってください。
ケースの破損や劣化の原因になります。

⚠注意

① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。

② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。

④ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。

⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

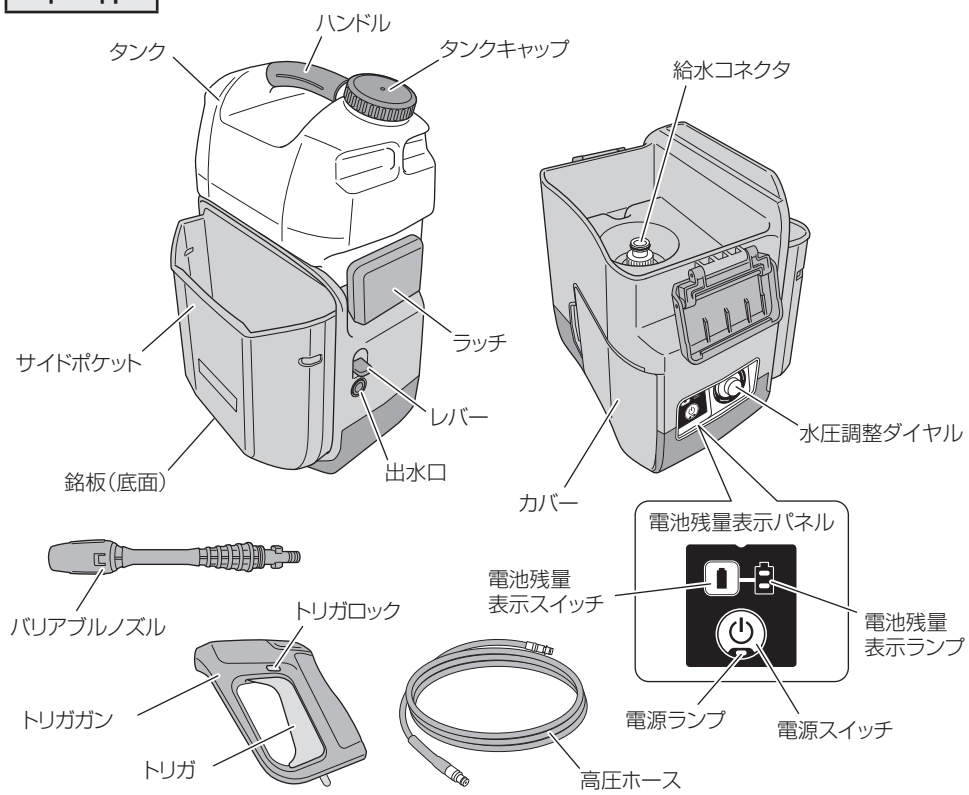
蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

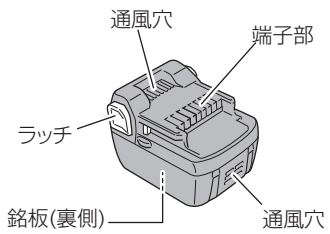
各部の名称

本　体

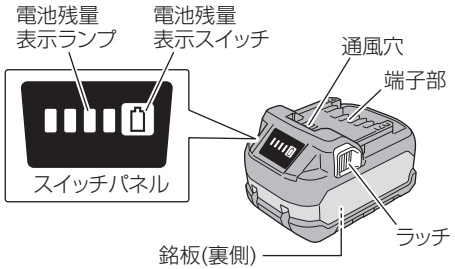


蓄電池

14.4V (BSL1460)



36V / 18V (BSL36A18X)



仕　様

1.　本体

形　　名	AW 14DBL	AW 18DBL
吐　出　圧　力	0.5 ～ 2.0 MPa	
吐　出　水　量	0.5 ～ 1.2 L/min	
許　容　水　温	40℃以下	
給　水　方　法	タンク給水 / 水道接続 / 溜め水給水	
タ　ン　ク　容　量	8 L	
モ　ー　タ　ー	直流モーター	
電　池　電　圧	14.4 V	18 V
寸　　法 (長さ×幅×高さ)	302 mm × 254 mm × 473 mm	
質　　量	4.5 kg (蓄電池、トリガガン、バリアブルノズル、高圧ホースを除く)	

2.　蓄電池

形　　名	BSL 1460	BSL 36A18X
種　　類	円筒密閉形リチウムイオン電池	
電　池　電　圧	14.4 V	36 V / 18 V (自動切替※1)
容　　量	6.0 Ah	2.5 Ah / 5.0 Ah (自動切替※1)
冷　　却	対応	
使　用　可　能 コ　ー　ド　レ　ス　製　品	14.4 V 品	18 V 品：使用可※2 36 V 品：マルチボルトタイプ 蓄電池対応製品※2
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36＊＊＊、UC 18＊＊＊シリーズ	
残量表示ランプ	–	緑色 LED

※1：工具本体により自動で切り替わります。
※2：ご利用できない製品があります。詳しくは、弊社ホームページまたは総合カタログで確認してください。

標準付属品

品名 ＼ 本体仕様	AW 14DBL		AW 18DBL	
	LYP	NN	LXPZ	NN
蓄電池 BSL 1460	1 個	–	–	–
蓄電池 BSL 36A18X	–	–	1 個	–
電池カバー	1 個	–	1 個	–
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。	1 台	–	1 台	–
トリガガン	1 個		1 個	
バリアブルノズル	1 個		1 個	
高圧ホース（3 m）	1 個		1 個	
ノズルクリーナピン	1 個		1 個	

別売部品（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

用途に応じた別売部品をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

市販品 は、お買い求めの販売店または、お近くのホームセンターなどでお買い求めください。

水道接続（P.25「水道から給水する場合」参照）

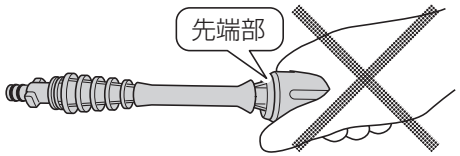
水道ホース 市販品 耐圧タイプ 内径　14～15 mm 外径　20 mm 以下	ワンタッチジョイント （別売品）	給水コネクタ （別売品）	水道蛇口連結部品 市販品
	コード No.332080	コード No.332081	

溜め水給水（P.27「溜め水を使用する場合」参照）

細径水道ホース 市販品 耐圧タイプ 内径　7.5～9 mm 外径　13.5 mm 以下	ワンタッチジョイント 市販品 （細径ホース用）	給水コネクタ （別売品）
		コード No.332081

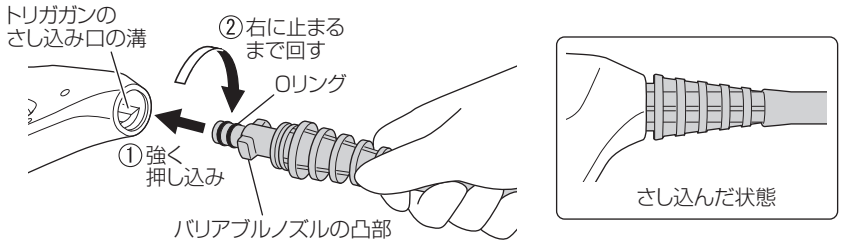
ご使用前の準備

注 **バリアブルノズルを回すときには、先端部を持たないでください。**
強い力をかけると、破損することがあります。



1 バリアブルノズルをトリガガンに取付ける

① トリガガンのさし込み口の溝に、バリアブルノズルの凸部を合わせてさし込み、そのまま奥に強く押しつけながら、矢印の方向に止まるまで (半回転) 回します。

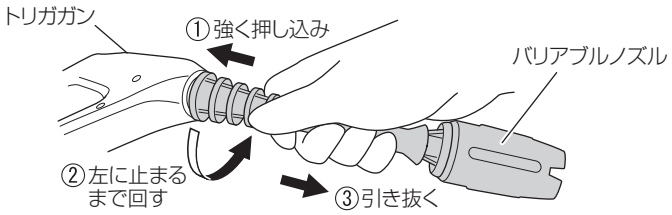


② バリアブルノズルを引っ張って、抜けないことを確認してください。

注 **• さし込み部分のごみや泥などは取り除いてください。**
• さし込みがきついときは、O リング部に水をつけるとさし込みやすくなります。

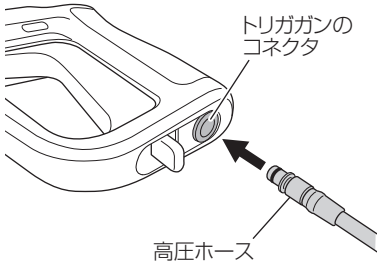
取りはずすときは

バリアブルノズルを強く押し込みながら、左に止まるまで回して引き抜きます。

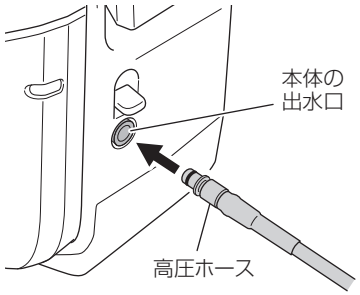


2 高圧ホースをトリガガン、本体の出水口に取付ける

① 高圧ホースの両端はどちらも同じ構造です。どちら側を取付けても問題ありません。トリガガンのコネクタに高圧ホースをカチッと音がするまでさし込みます。



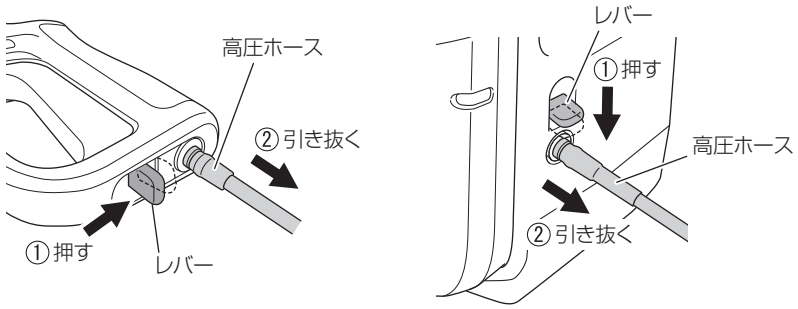
② 高圧ホースの反対側を本体のコネクタにカチッと音がするまでさし込みます。



取りはずすときは

注 **高圧ホースを抜く前に、必ず水抜きを行ってください。**
（P.29 ～「作業が終わったら」参照）

レバーを押しながら、高圧ホースを引き抜きます。



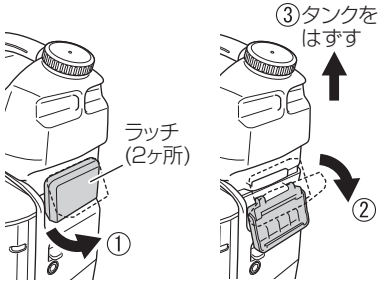
タンクの取付け・取りはずし

⚠注意

水道水（40℃以下）を使用してください。
酸性・アルカリ性の液体や洗剤・農薬などを使用すると故障の原因になります。

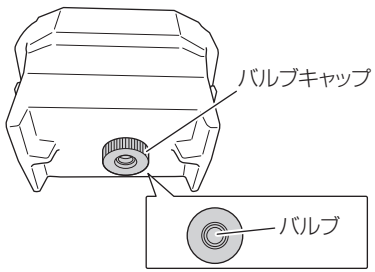
1 タンクをはずす

2ヶ所のラッチをはずして、タンクを上に持ち上げて取りはずします。



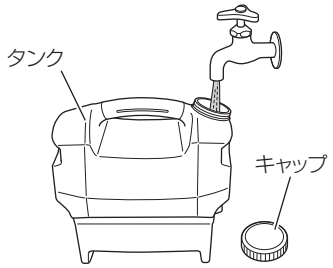
2 バルブキャップの確認

タンクの底面にあるバルブキャップがゆるんでいないことを確認します。
また、バルブにごみがつまっている場合は掃除してください。



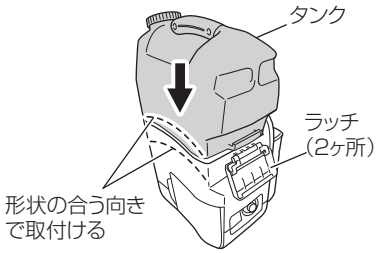
3 タンクに水を入れる

キャップをはずして、タンクに水を入れます。（タンク容量：8L）



4 タンクを取付ける

本体と向きを合わせてタンクをさし込み、ラッチ（2ヶ所）で固定します。



注 **本体に水をこぼした場合は、よくふき取ってください。**

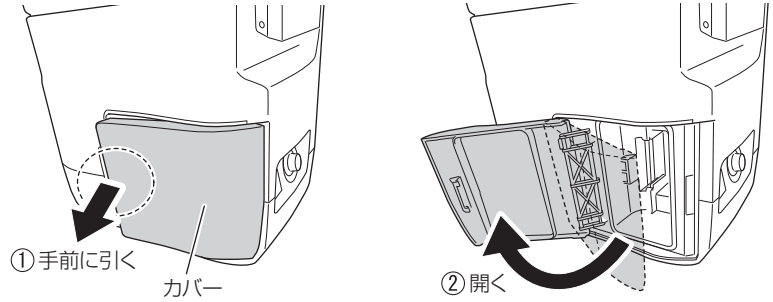
蓄電池の取付け

⚠注意

蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、水の吐出が不安定になります。また故障の原因になります。

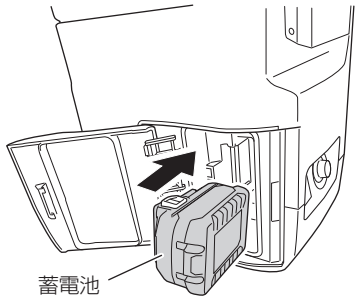
1 カバーを開く

図の位置を手前に引くと、カバーが開きます。



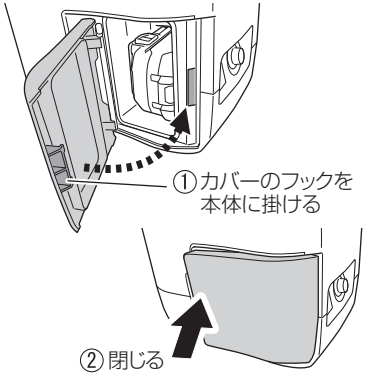
2 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



3 カバーを閉じる

図の位置にあるカバーのフックを本体側に掛けてから、カバーを閉じます。



電池残量について

●本体の電池残量表示ランプについて

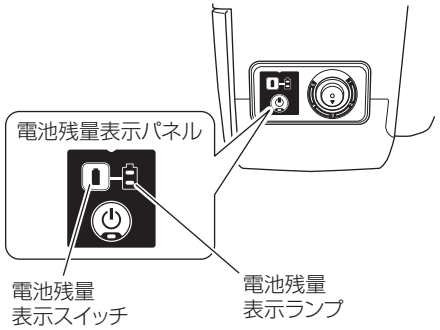
電池残量表示スイッチを押すと赤色ランプが点灯して、電池残量を確認することができます。
電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。
ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電 池 残 量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので、目安としてください。

⚠注意

電池残量表示パネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
故障の原因になります。

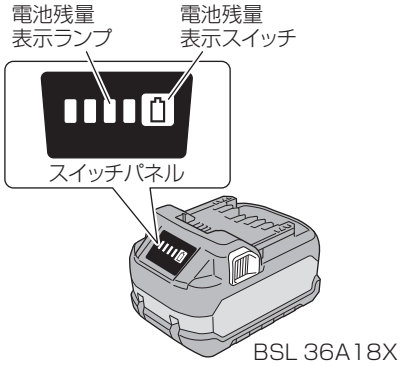


注
- **電池残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。**
- **ランプは蓄電池を本体に取付け、一度スイッチを入れた後でないと電池残量表示スイッチを押しても点灯しません。**
- **残量表示機能のある蓄電池を使用する際は、蓄電池側の残量表示を参照してください。**

●蓄電池の電池残量表示について（BSL 36A18X）

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。



注 **残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。**

ランプの点灯状態		電 池 残 量
	点灯	75% 以上
		50% ～ 75% 未満
		25% ～ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止※1
		故障のため出力停止※2

※1：蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。
※2：蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

1 充電当たりの作業量について

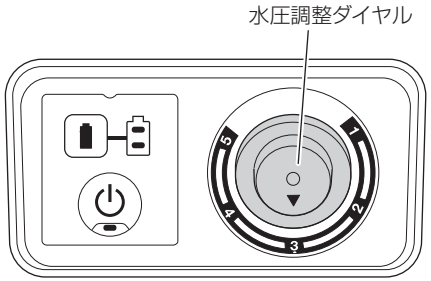
1 充電あたりの作業時間の目安を示します。
(作業時間は、使用環境、蓄電池の状態などにより多少異なります。)

AW 14DBL (BSL 1460 使用時)

水圧調整ダイヤル	1	2	3	4	5
作業時間	180 分	140 分	105 分	70 分	35 分
8 L タンク	11.2 杯	12.2 杯	11.5 杯	9.2 杯	5.4 杯

AW 18DBL (BSL 36A18X 使用時)

水圧調整ダイヤル	1	2	3	4	5
作業時間	180 分	140 分	105 分	70 分	35 分
8 L タンク	11.3 杯	11.9 杯	11.2 杯	9.0 杯	5.3 杯



オートパワー OFF 機能について

本機には、電池の不要な消耗を防ぐと同時に、不用意な始動、事故などを防止するため
オートパワー OFF 機能が搭載されています。
オートパワー OFF 機能は、以下の状況で作動します。

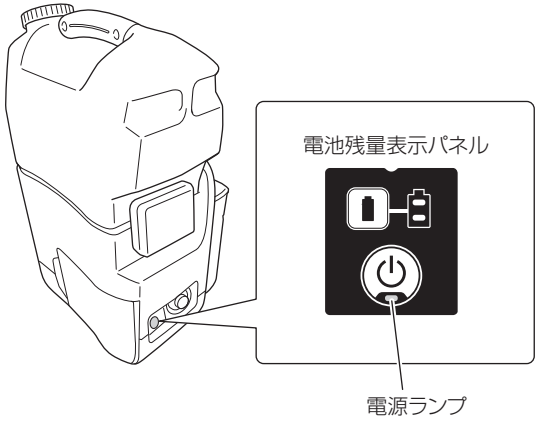
● 電源スイッチが入ったままで、トリガが引かれず、約 30 分経過したとき
● トリガが引かれた状態が連続して約 30 分続いたとき

どちらも、再度電源スイッチを ON にすれば、使用できます。

電源ランプの表示について

本体に異常が発生した場合には、以下のように電源ランプの点灯で通知します。

ランプの表示（点灯色：緑）		通知内容	対　策
点灯	連 続 点 灯	運転可能または運転中です。	―
点滅	1 秒点灯 /1 秒消灯	蓄電池が高温になっているため、運転停止中です。	点滅を繰り返すときは、使用を中断し、本体より蓄電池を取りはずして、風通しの良い日かげなどで十分に冷ましてください。 温度が下がれば、再び使用できます。
速い点滅	0.2 秒点灯 /0.2 秒消灯	異常があります。	蓄電池または本体の端子部に異物がはさまっていないか確認し、異物が入っていた場合は、取り除いてください。 それでも速い点滅を繰り返すときは本体の異常と考えられますので、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

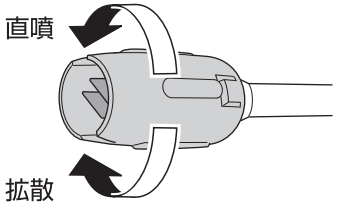


バリアブルノズルの使い方

●バリアブルノズル

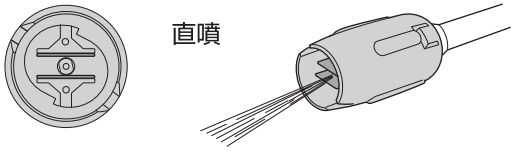
バリアブルノズルは、ノズル先端を回すと直噴⇔拡散の調整ができます。

ノズル先端を左に回すと「直噴」、右に回すと「拡散」に調整できます。

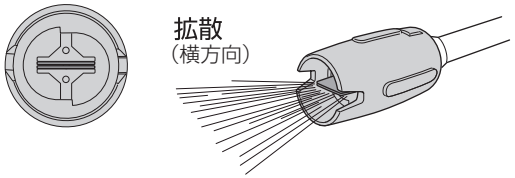


注
- **拡散の調整は始めに直噴の位置にしておき、トリガガンのトリガを引いて水を噴射しながら徐々に拡散状態を調整してください。**
  拡散方向に止まるまで回した場合、水が横方向に噴射され周囲に飛び散る恐れがあります。
- **直噴⇔拡散の調整を行う際、止まる位置よりさらに強く回すとノズルが破損する恐れがあります。**

● **直噴洗浄**
水流が高圧で直線状に噴射されます。



● **拡散洗浄**
水流が扇状に広がって噴射されます。
直噴に比べて、水圧は低くなります。



洗浄する

●網戸、窓ガラス、床面、外壁などの洗浄
●自動車、オートバイの洗浄
●園芸用具、農耕具などの泥落とし

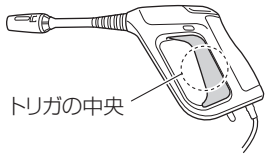
⚠警告

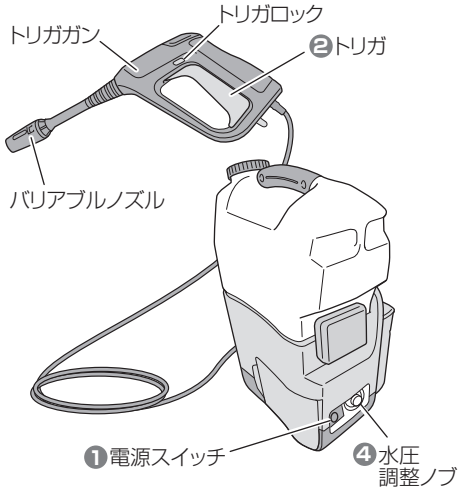
- **トリガを引いた状態で電源スイッチを入れないでください。**
  すぐに高圧水が噴射し、思わぬ事故の原因になります。
- **ノズルの噴射口を人や動物に向けないでください。**
  けがの原因になります。
- **電気設備や電気機器の近くで使用しないでください。**
  感電する恐れがあります。
- **トリガガンを手でしっかり握って作業してください。**
- **高圧ホースを折り曲げたり傷つけたりしないでください。**

注
- **作業の始めは、洗浄する物から 1 m 程度はなれた所から行い、洗浄する物の状態と汚れ落ちの具合を確認しながら、汚れ落ちが十分でないときには徐々に洗浄する物に近づいていくようにしてください。**
  水道水圧の 7 倍程度の高圧水が噴射されます。高圧水により傷が付いたり、塗装をはがしたりすることがあります。
- **使い始めは、ポンプ内やホース内の溜まった空気が一緒に放水されるため、水の出方が不安定になる場合があります。そのときは、安定するまで出し続けてください。**
- **トリガを引いたりはなしたりする操作は、2 秒以上をあけてください。**
  圧力スイッチが誤作動する場合があります。
- **本体および蓄電池を車内や炎天下に放置しないでください。**

⚠注意

- **タンクの水がなくなった場合は、直ちに本体の電源スイッチを「OFF」にしてください。**
  渇水運転となり、早期故障の原因になります。
- **運転を中断するときは、本体の電源スイッチを「OFF」にした後、トリガを引いて水を抜いてください。**
  電源スイッチを「ON」にしたまま放置すると、自動でモーターが再起動することがあります。
- **トリガを操作するときは、トリガの中央位置で操作してください。**
  端で操作すると、指をはさんでけがの原因になります。

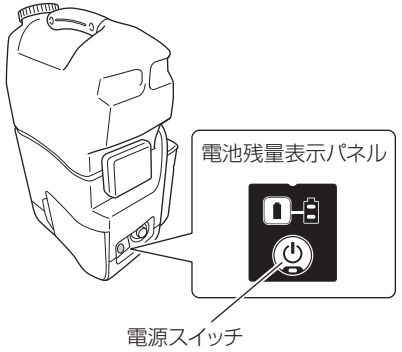




注
- **タンクが空の状態で本体の電源スイッチを「ON」にしないでください。**
  故障の原因になります。
- **本体底面から、水が出ることがあります。屋内での使用は、水が漏れ出ても支障がないように機体を設置してください。**
  万一、機体内部に水が浸透したときに機体の故障を防ぐ目的で、本体底面に水抜き穴があります。

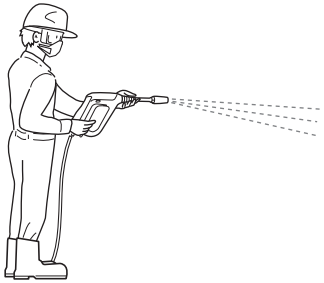
1 電源スイッチを「ON」にする

「ON」にすると、モーターが起動します。本体内部の水圧が十分になると自動的にモーターが停止します。



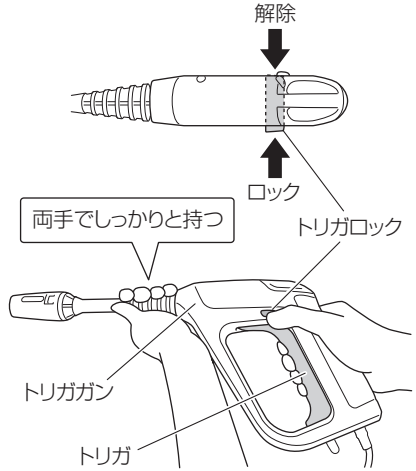
3 噴射を調節する

用途に応じて、直噴、拡散などを調整してください。
(P.22「バリアブルノズルの使い方」参照)



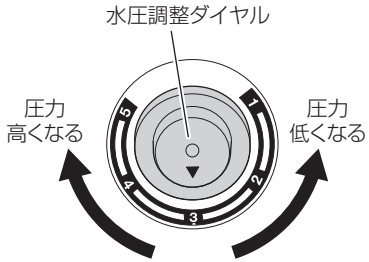
2 トリガを引く

トリガガンを手でしっかりと持ちます。
ノズルの先端を洗浄する物に向け、トリガロックを解除方向に押してトリガを引きます。
トリガを引いた状態で固定することはできません。



4 水圧を調節する

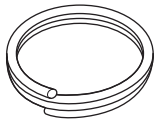
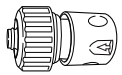
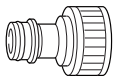
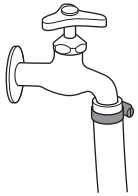
水圧調整ダイヤルを回して、水圧を調整します。
(P.19「1 充電あたりの作業量について」参照)



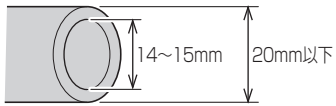
水道から給水する場合

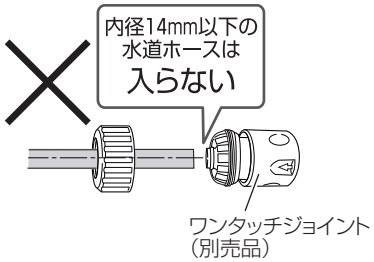
水道から給水する場合には、蛇口に接続した水道ホースにワンタッチジョイント (別売品) を取付け、給水口を給水コネクタ (別売品) に交換してください。

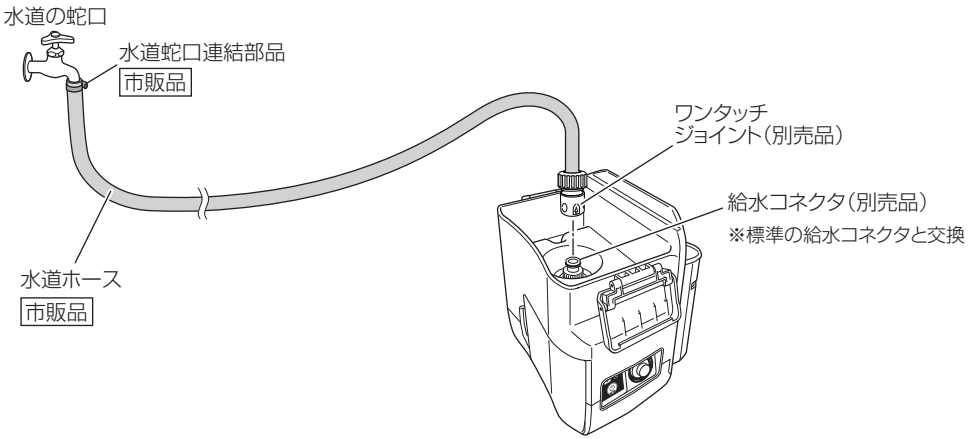
◆ 用意する物

水道ホース 市販品 耐圧タイプ 内径　14 ～ 15 mm 外径　20 mm 以下	ワンタッチジョイント (別売品)	給水コネクタ (別売品)	水道蛇口連結部品 市販品
	 コード No.332080	 コード No.332081	

注 内径 14 mm 以下の水道ホースは、使用しないでください。

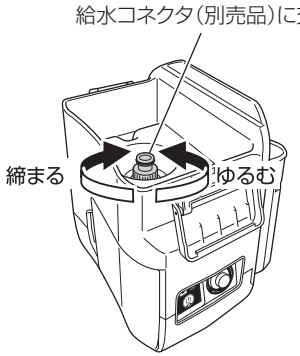






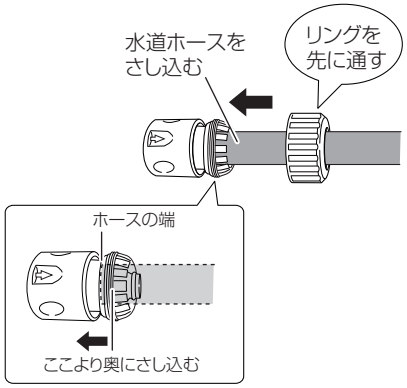
1 給水コネクタを別売部品に交換する

① 給水口の給水コネクタ (本体装着) を回して取りはずします。
② 給水コネクタ (別売品) を取付けます。



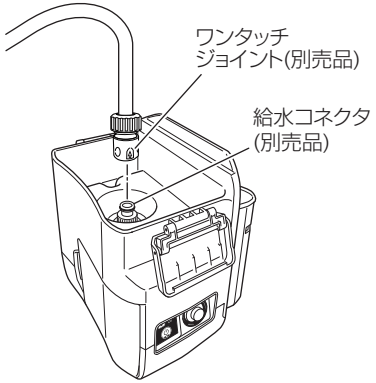
2 ホースにワンタッチジョイントを取付ける

水道ホース 市販品 に
ワンタッチジョイント (別売品) を取付けます。



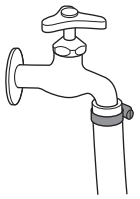
3 ワンタッチジョイントを給水コネクタにさし込む

ワンタッチジョイントを本体の給水コネクタ (別売品) にさし込みます。



4 ホースを水道蛇口につなぐ

連結部品 市販品 を使って
ホースを水道蛇口につなぎます。



5 洗浄する

水道の蛇口を全開にして、水漏れ等がないことを確認します。
電源スイッチを「ON」にし、トリガガンのトリガを引いて洗浄作業を行います。

溜め水を使用する場合

⚠注意

水道水以外 (川や池の水、砂等混じった泥水) は使用しないでください。
故障の原因になります。

本機は、市販の細径水道ホースおよびワンタッチジョイントを取付けることで、水槽などに溜めた水を吸い上げて使用することができます。

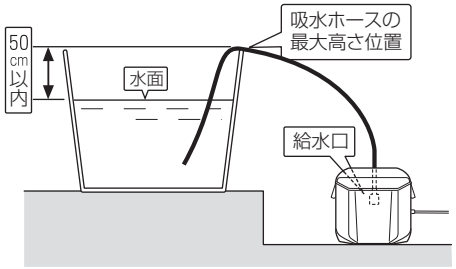
◆用意する物

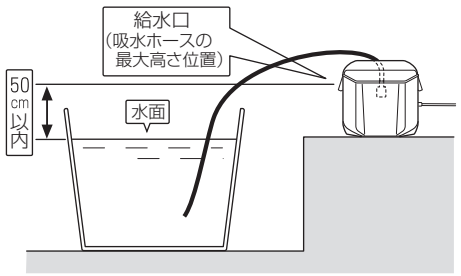
細径水道ホース 市販品 内径　7.5 ～ 9.0 mm 外径　13.5 mm	ワンタッチジョイント 市販品 (細径ホース用)	給水コネクタ (別売品) コード No.332081

注 **内径が 9 mm を超えるホースでは、水を吸い上げることができません。**

以下に示す最大吸い上げ高さの範囲内に、本機を設置して使用してください。

給水口の高さが吸水ホースの最大高さより低いときの吸い上げ高さ： 吸水ホースの最大高さ位置から水面まで	給水口の高さが吸水ホースの最大高さと同じときの吸い上げ高さ： 給水口から水面まで



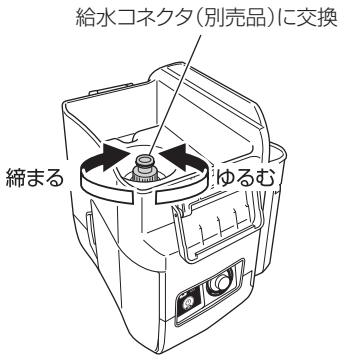


注 **給水口と溜め水の水面の高低差が大きいと、水を吸い上げることができません。**

1 給水コネクタを別売部品に交換する

① 給水口の給水コネクタ (本体装着) を回して取りはずします。

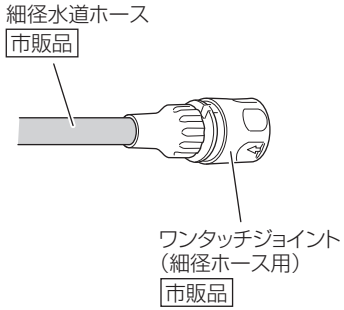
② 給水コネクタ (別売品) を取付けます。



2 ホースにワンタッチジョイントを取付ける

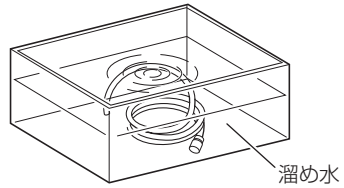
細径水道ホース 市販品 に適合する ワンタッチジョイント 市販品 を取付けます。

取付け方法は、ワンタッチジョイントの説明書に従ってください。



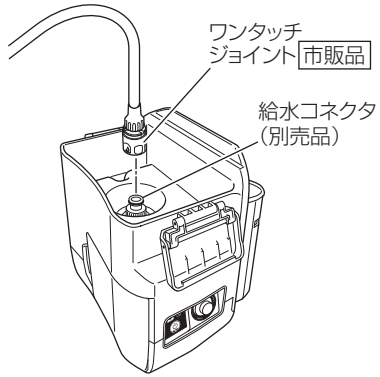
3 ホース内に水を入れる

ホースを溜め水の入った容器に移し、ホース内に水 (呼び水) を入れて空気を抜きます。



4 ワンタッチジョイントを給水コネクタにさし込む

溜め水からワンタッチジョイントを取出し、ホース内の水がなるべく抜けないように本体の給水コネクタ (別売品) にさし込みます。



5 洗浄する

電源スイッチを「ON」にし、トリガガンのトリガを引いて洗浄作業を行います。

注 **2 分以内に水が出ない場合は、電源スイッチを「OFF」にしてください。**
故障の原因 (渇水運転) になります。

作業が終わったら

洗浄作業を終えたら、機体内部の水を抜いて、風通しの良い場所に保管し、十分に乾燥させてください。

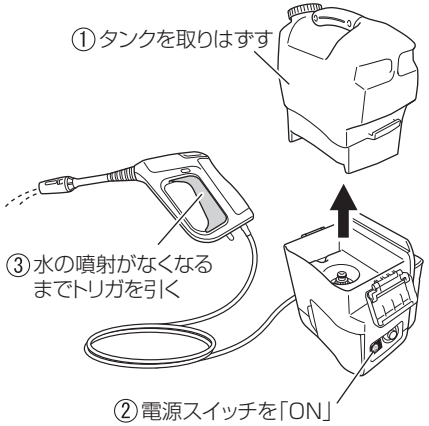
冬期は機体内部、ホース内の水が凍結する場合もありますので、十分に水気をとった上で、室内で保管してください。

⚠注意

使用後は、機体内部、トリガガン、ホース内等に残っている水を確実に抜いてください。
水が残っていると凍結して、故障の原因になります。

1 タンクとトリガガンの水抜きをする

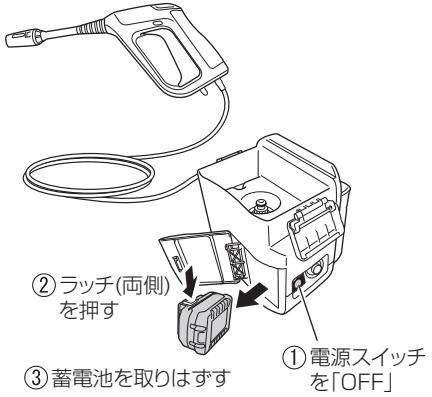
① タンクを本体から取りはずします。
水道や溜め水を使用した場合は、ホースをはずします。
② 本体の電源スイッチを「ON」にします。
③ トリガガンのトリガを引き、機体内部の水を抜きます。
水の噴射がなくなるまで (10 秒～30 秒程度) 行ってください。



2 電源スイッチを「OFF」にする

① 本体の電源スイッチを「OFF」にします。
② 両側のラッチを押しながら、スライドさせて蓄電池を取りはずします。

注
- **蓄電池は付属の電池カバーを取付けて保管してください。**
- **渇水状態で電源スイッチを入れたままにすると、故障の原因になります。**

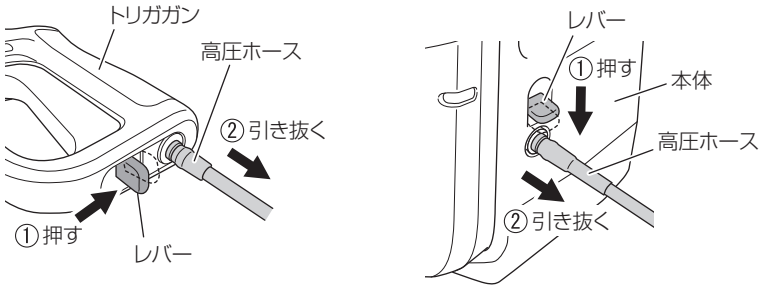


重　要

冬期は機体内部に水が残ったままにすると、凍結により内部のポンプやトリガガンが破損する場合があります。

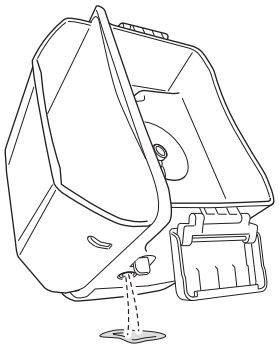
3 高圧ホースを取りはずす

レバーを押しながら、トリガガンおよび本体から高圧ホースを引き抜きます。



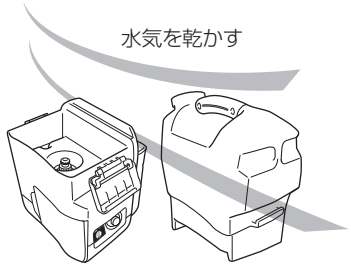
4 内部の水抜きをする

本体を傾けて、内部に残った水を抜き取ります。



5 機体の水気をとる

乾いた布で機体の水気をふき取ります。
風通しのよい日かげで機体に付いた水気を乾かしてから保管してください。



保守・点検

⚠警告

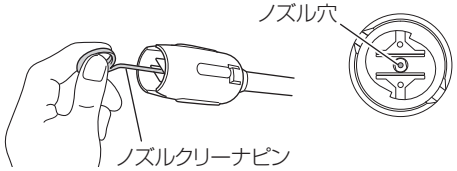
点検・手入れの際は、必ず本体の電源スイッチを切り、蓄電池を本体から取りはずしてください。

●機体、各種ホースの点検

破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

付属のノズルクリーナピンで定期的にノズル穴の掃除を行ってください。

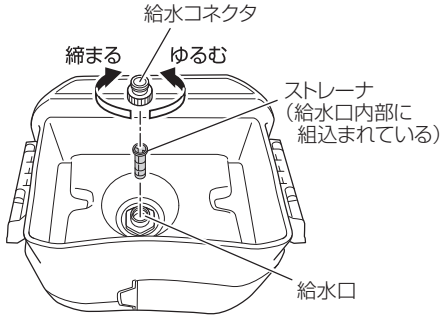
注 **トリガガンからはずして、ノズル穴の掃除を行ってください。**



●ストレーナの点検

定期的に洗って、網目のつまりを取ってください。

注 **ストレーナは先端が平らなラジオペンチなどを使用して給水口内部から引き抜いてください。**



●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

⚠注意

端子部に切りくず、ほこりがたまっている場合は、取り除いてください。
そのまま使用すると、故障の原因になります。

●清掃する

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●作業後の収納と保管

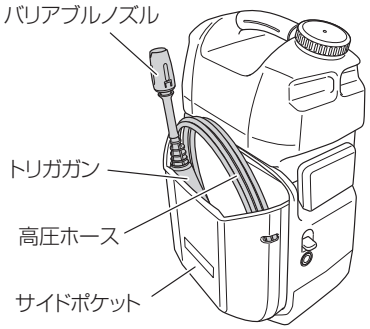
機体の収納時や運搬時に、付属品を図のように本体に収納することができます。

蓄電池は本体から取りはずし、電池カバーを取付けて保管してください。

本体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、温度が５０℃未満の安全で乾燥した場所に保管してください。

- **お子様の手が届く場所、持ち出せる場所**
- **軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所**
- **温度が急変する場所、直射日光が当たる場所**
- **引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所**

注 **高圧ホースを本体からはずして運搬や保管するときは、タンクの水を抜いてください。**
本体底面の水抜き穴から、水が漏れることがあります。



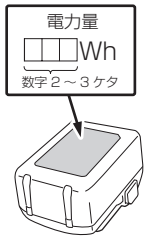
●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

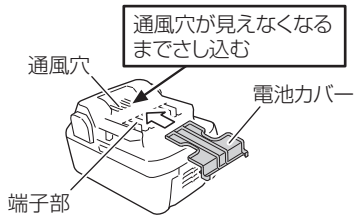


●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- **収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。**
- **短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。**



注 **リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。**

蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3 か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。

充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

状　況		原　因	対　策
作動しない		電源スイッチが「ON」になっていない	電源スイッチを「ON」にしてください。
		電池の残量がない	充電してください。
トリガガンから水が出ない 水圧が低い 水圧が一定でない 水の出方がおかしい モーターがうなる		ストレーナーが目づまりしている	ストレーナーを取りはずして掃除してください。
		ノズルが異物でつまっている	付属のノズルクリーナピンで掃除してください。
		給水コネクタがゆるんでいる	給水コネクタを確認してしっかり締付けてください。
		高圧ホースに水漏れを生じている	接続部を確認してしっかり接続してください。
			高圧ホースが破損している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
		本体またはトリガガンに水漏れを生じている	お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
	タンク給水	本体とタンクが正しく接続されていない	本体とタンクを確認してしっかり接続してください。
		タンクの水が少ない	電源スイッチを切って、速やかに水を補給してください。
		タンクのバルブキャップが目づまりしている	バルブキャップを取りはずして掃除してください。
	水道接続	水道水の水量・圧力が低い	ホースの内径が適正か、またねじれがないか確認してください。 水道の蛇口を全開にしてください。
	溜め水給水	呼び水が十分に行われていない	ホースを溜め水に浸し、ホース内に水（呼び水）を入れてください。
		給水口と溜め水の水面の高低差が大きい	最大吸い上げ高さの範囲内に設置してください。
		ホースの内径が適正でない	内径が 7.5 ～ 9 mm のホースを使用してください。
モーターが突然止まる		電池の残量がない	充電してください。
		電池が過熱している（電源ランプ点滅）	本体より電池を取りはずして、風通しの良い日かげなどで電池を十分に冷ましてください。
		本体に異常がある（電源ランプ速い点滅）	お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
放水中、モーターがオンオフを繰り返す		ノズルが異物でつまっている	付属のノズルクリーナピンで掃除してください。
		タンクの水が少ない	電源スイッチを切って、速やかに水を補給してください。
トリガをはなしてもモーターが止まらないまたはモーターがオンオフを繰り返す		高圧ホースに水漏れを生じている	接続部を確認してしっかり接続してください。
			高圧ホースが破損している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
		本体またはトリガガンに水漏れを生じている	お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
		本体に異常がある	
本体またはトリガガンから高圧ホースがはずせないまたは　きつい		高圧ホースに圧力がかかったままになっている	電源スイッチを切り、トリガを握って圧力を開放してください。